

番組審議会報告 平成 26 年 7 月期

このページは、J:COM 福岡の番組審議会のページです。

「放送法 第 3 条の 4」に基づき、放送番組審議機関として、「J:COM 福岡番組審議会」を設置し、自主放送番組の審議を行っております。

J:COM 福岡の番組審議会は、年に 2 回開催しております。議題は、番組・編成方針・広報・その他サービスなど J:COM 福岡の放送サービス全般に渡っております。

J:COM 福岡では、審議会で提出されたご意見・ご質問・ご要望や斬新なアイデア、感想に至るまで番組の開発、改善、編成業務の参考にさせていただきます。

平成 26 年度番組審議会委員(敬称略・順不同)

会長	NPO 法人鴻臚館福岡城跡歴史観光市民の会理事長	石井幸孝
副会長	元 UR 都市機構九州支社総務部長	岩村昭征
委員	2014 年第 6 回スペシャルオリンピックス日本 福岡実行委員会 事務局次長	白川紹子
委員	スポーツフリーライター	中倉一志
委員	ヒューマンデザイン研究所講師	松原弘美
委員	筑前七浦 事務局長	井上正文
委員	(財)北九州市芸術文化振興財団 北九州芸術劇場 プロデューサー 西鉄ホール プロデューサー	中村絵理子
委員	NPO グリーンバード代表	木下真裕
委員	株式会社アイデアル Web ディレクター	元尾祐子

平成 26 年 7 月期 J:COM 福岡 番組審議会

日時:平成 26 年 7 月 14 日(月) 11:30~13:00

場所:J:COM 福岡 3 階役員会議室

出席者:委嘱委員 8 名出席(全 9 名中)

(会長)石井幸孝 (副会長)岩村昭征

(委員)白川紹子、松原弘美、井上正文、木下真裕、中村絵理子、元尾祐子

J:COM 徳田瑞穂、池下雄規、長尾政一、福島功、森竹大輔、篠原有、石塚淳、香月敬一(事務局)

番組審議会議事公開

<p>審議対象作品 (1)</p>	<p>街 ing ふくおか</p>
<p>番組について</p>	<p>■暮らしに活用できる地域情報をお届けする生番組。 2013年10月のスタート以降、朝刊フラッシュ(西日本新聞地方版の拾い読み)、暮らしナビゲーション(行政や消防局からの告知案内やイベント情報のお知らせなど)、を放送してきた。前回の番組審議委員会で、当番組の放送時間と中身について審議頂き、2014年4月の改編においてそのご意見を反映いたしました。</p> <p>□変更点(1) 働く人に合わせ11:00からの生放送に加え、16:00からと22:00から再放送を編成。</p> <p>□変更点(2) 15分番組から30分番組に放送枠を拡大し「今日は何の日」、「突撃街かどリポート」、「街の動きをテレビック」を追加し、今日という日を意識、地元の人が登場する番組に仕上げました。</p> <p>この番組はまだまだ進化していくことが出来る番組ですので、プラスワンのご意見を頂きたい。</p>
<p>審議内容</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日は何の日は良い ・直近イベントではなく2、3日後開催のものを案内するように変化し良くなった。 ・ボランティアの募集なども告知してみてもどうか。 ・病院の無料健康教室の案内、鉄道ブームがキテいるので情報として取り上げてみる。 ・MCの回し方が難しいけれども、生だからこそ「わくわく」「失敗」「ハプニング」などがでるコーナーが欲しい。生放送ならではのスパイスが効いているコーナーがあってもよい。 ・子供向けの情報が欲しい。行政と連携して、市政だよりのプッシュアップでも良い。市政だよりは(紙媒体で)動かないものなので、動くもの(映像)だったら行ってみようかと言う気持ちになるかも。 ・番組を見ていて、制作側が追われているのが分かる。だんだん良くなっているので、もう少し丁寧にする力をつけてほしい。 ・番組の価値も上がってきている。 ・再放送があるのは良い。 ・「突撃街かどリポート」は身近に感じ、好きである。

<p>審議対象作品 (2)</p>	<p>Hometown ふくおか (7月4日~10日)</p>
<p>番組について</p>	<p>■10年以上の歴史を持つ、J:COM 福岡一番の長寿番組。わがまち福岡の身近な出来事やお祭りの紹介、突撃体験レポート、おすすめランチ情報、イベント告知をはじめ県警・消防署からの啓発コーナーまで、話題凝縮の30分番組です。</p> <p>10月の改編に併せ、大幅な見直しを検討しており、地域情報の充実などのアイデアを多数頂きたい。</p>
<p>審議内容</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「J:ランチ」では、店を紹介する営業マン自身の紹介を入れるなどコーナーを成立させるエクスキューズを入れると良いのでは。 ・イベントの紹介も子供の笑顔などが写っていて良い。 ・MCのオープニングで紹介したお店について、もう少し丁寧に地図や店名をしっかりと出して欲しい。 ・そのMCのお店紹介は、自分が自ら取材してきているので、言葉が多くなり、重くなっている。→MC自身のブログなどに誘導するのも良いのではないのでしょうか。 ・みみとカンナのぶらり散歩はカンナちゃんの進行が不安。カンナちゃんの「へ～」が気になる。 ・イベントの事後報告だけではなく、今後の予定など活かせる情報が欲しい。 ・スポーツしている子供に対してのただのインタビューではなく、その周りの人がどのように支えているかなどの、インタビューなどがあれば、もっと深みがでるのでは。 ・全体を通じてカメラワークや編集の引き出しが上手い。ナレーションも良い。 ・「ファイタの安全守るっ隊」は、単純な情報なのか、危険を伝えたいのかなど、何を伝えたいのか分からなかった。 ・取材を受ける発信者側がもっと工夫すべき。売り切れて買えなかったら、何処で買えるかなどを伝えるなど。

<p>その他提案等</p>	<p>受賞番組の宣伝をしては如何でしょうか。</p> <p>地域の高齢者がやっている学童保育の紹介なども行って欲しい。</p> <p>子供たちの育て方を良くするような番組を作って欲しい。</p> <p>HIV 感染及び薬物汚染などを抑止する番組を作って欲しい。</p> <p>不動産、建築、サービス業「衣・食・住」というテーマに分けて番組を企画してはどうか？</p>
<p>コミュニティチャンネルのこれから</p>	<p>昨年は「地域に密着」ということで、「街 ing 福岡」や「ぐるっと J:COM 探検隊」の制作をスタートし、2014 年は「使えるコミチャン」をテーマに掲げ、「地域とのコミュニケーションのワンポイントとして使える」、「行政とのコミュニケーションとして使える」、「J:COM 福岡のイメージアップとしても使える」をモットーに制作活動を行っている。</p> <p>これから先 2014 年末～2018 年にかけて、「見たい番組がある→固定ファンの拡大」、「面白い番組があった→新規開拓」、「毎週欠かさず見る→ファン定着」と発展していき、2018 年度末には、J:COM チャンネルをみると、「得をすることがある」「役に立った」「生活が潤う」などを実感して頂くようになることを目指す。</p> <p>そのために、以下の 3 つの柱として、「生活情報の充実」「地域情報充実」「歴史・文化に貢献」を念頭に、生活に欠かせないチャンネルへ発展していきます。</p>
<p>徳田社長より</p>	<p>J:COM チャンネルの有るべき姿を共有させていただいた上で色々なご意見を頂戴し、時間をかけてしっかりやっていきたいという思いで 2018 年までの目標を提示いたしました。</p> <p>J:COM チャンネルは地域貢献という使命感を持って運営していきたい。今後は Twitter や Facebook などを活用し、地域の皆様のご意見をリアルタイムに把握していくことも必要だと思っています。</p> <p>これからも地域貢献が出来るようなご意見・情報を下さいますようお願い致します。</p>